

兵庫県の蝶 (1)

千種川水系の蝶相

尾 崎 勇

千種川は県の南西部を流れており川の西部は岡山県に接している。その源流は三室山（標高1358m）で、支流佐用川を合せて（佐用川の源流は日名倉山、標高1047m）赤穂市より瀬戸内海にそそいでいる。その流域に産する蝶相は数種に富み、平野部を流れていないこの川は現在も水がきれいで、ヤマメ釣りやアユ釣りの人々を多く見かける。

1) 河口付近

河口近くの堤防には個体数は少ないが、シルビアシジミを産する。兵庫県の一級河川の堤防は改修工事が大規模に行なわれ、工事後にはチガヤが植えられている。又河川敷はグラウンドや緑地公園に利用されている所が多く、蝶の姿を見かけなくなった。千種川の河川敷はあまり開発されていないので蝶も多数発生している。

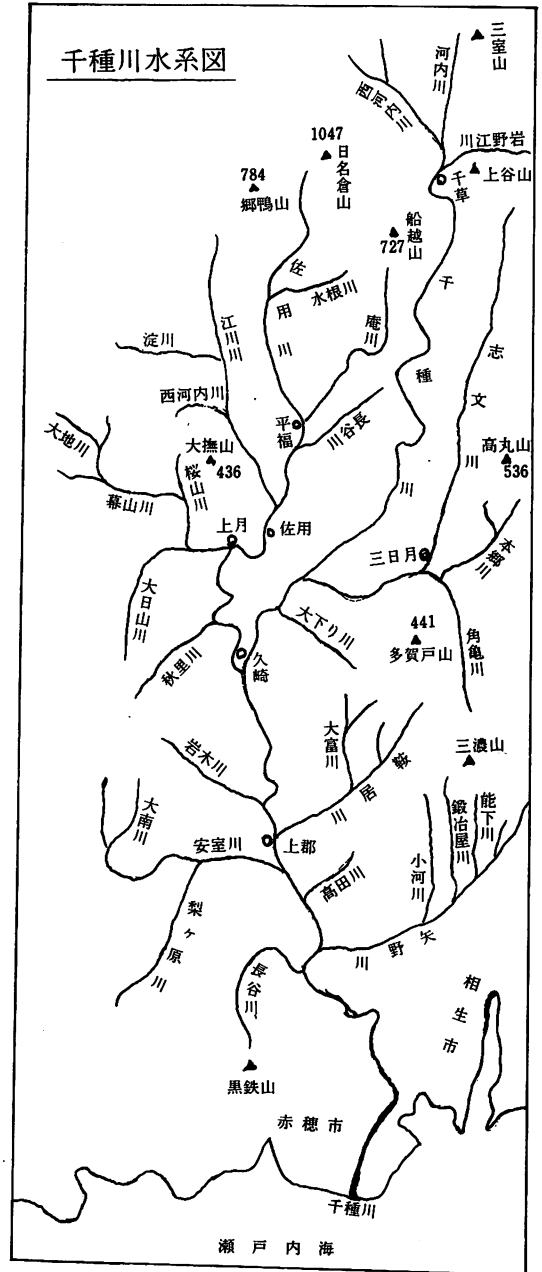
赤穂市内では近年ナガサキアゲハが多数採集されている。こゝ二、三年冬期の気温が高く揖保郡御津町室津と共に土着している。

同川西岸の春日一小山部落間ではホシミスジ、ウラナミジャノメ、ヒメヒカゲ、ウラキシジミ、等を産する。ヒメヒカゲは千種川流域の数少ない産地の1つである。このあたりより有年にかけての兩岸の雑木林や谷筋には、コバノトネリコが多く分布しているので、それを食樹としているウラキシジミが多産している。河川敷や川岸にはヤナギ類やエノキも多く、コムラサキやゴマダラチョウの三化の個体が9月中・下旬に見られるのもこのあたりである。

東有年の近くで黒鉄山より流れ出ているのが長谷川で（千種川への合流点6882m）ある。黒鉄山は赤穂市の最高峰であるが標高430mの低山で松を主とした痩山である。山麓部に少数のクヌギ、コナラ、アラカシ等の広葉樹が残っているにすぎない。長谷川の流域は蝶の採集には魅力に乏しいのか、採集記録もなく同好者の間でも話にも出ない川である。

2) 矢野川

長谷川の合流点より少し上流で東側より流れ込んでいるのが矢野川である（千種川への合流点12,218m）。矢野川は相生市三濃山を源流にしているので蝶の種数



も多い。採集者も多数訪れ、採集記録も多く残されている。

合流点近くの土手にはミヤコグサが分布しているが、シルビアシジミの記録はない。

少し上流の瓜生部落では、シルビアシジミの採集記録がある。しかし現在は発生していない。ウラムスジジミは現在も採れている。

瓜生より三濃山山上への道が通じており、この谷筋が好採集地である。ミヤマカラスアゲハ、スミナガシ、アサギマダラ、スジボソヤマキチョウ等が採れる。

6月下旬頃よりウラムスジジミやヘリグロチャバネセセリが多産し、ムラサキツバメの採れるのもこの谷筋である。クロカタピロオサムシ、マヤサンオサムシ、ヤコンオサムシ、オオオサムシ、マイマイカブリ等も採集出来る。特にオオオサムシは多産する。他にカミキリムシやハムシ類も種数は多い。

イチイガシも自生しているが少なく、ルーミスジジミの発生はない様である。又山麓部各所にミヤコアオイが分布しているが、ギフチョウは発生していない。

森部落より能下部落に至る谷筋では三濃山で数少ないアサマイチモンジが採れ、峠への道の首切塚近くではクロヒカゲモドキの記録もある。

榊川上流部はあまり採集記録もなく、モンキアゲハ、ジャコウアゲハぐらいである。

矢野川寺田部落で矢野川に合流している小河川でも同じ様な蝶が採れるが、三濃山では数少ないオオムラサキが発生している。ミヤマカラスアゲハは多い。

3) 高田川

高田川は小さな川で(千種川への合流点4800m)蝶も上流の小野豆部落で、ウスイロオナガシジミ、ウラジロミドリシジミが採れるぐらいである。

4) 安室川

赤穂郡上郡町(国鉄山陽本線上郡駅)近くで西方より安室川が流入している(千種川への合流点15,346m)。同支流の梨ヶ原川(安室川への合流点6000m)と共に同流域での採集記録はない。筆者も同地を訪れたことがなく蝶相は不明である。植生は松を主にした瘦山なのであまり期待出来ないが一度は調査して見たい所である。

5) 鞍井川

千種川に沿って国道373号線を北上し上郡町を出外れた所で、東方より鞍井川が合流している(千種川への合流点11,291m)。同川は支流大富川と共に多くの採

集記録が残っている。鞍井川上流の金出地部落では春期ジャコウアゲハが多産し、大富川上流部ではヒロオビミドリシジミの記録もある。鍋倉、富満部落は350m程の台地にありヒョウモン類が採れる。

白旗山(標高440m)には室町時代の山城跡があり、山内には土塁跡なども見られるが採集にはあまり良くない。

6) 岩木川

西方より本流に入っているのが岩木川(千種川への合流点3844m)である。倉尾部落近くでジャコウアゲハが採れるが石戸部落あたりからの採集が面白く、黒石部落への坂道が良い。オオムラサキが多くスギタニ型も採れている。他にスミナガシ、ウラムスジジミ等も採れオオムラサキの採集期(7月上旬)頃にはオオミドリシジミの産卵しているのも目撃される。

大型のカミキリムシのオオシロカミキリ、ミヤマカミキリ等が多く、日暮れに樹上より下りてくるアカアシオオミドリカミキリの採れるのもこのあたりである。クワガタ類も多産し夏期には子供達で賑わっている。黒石部落ではキマダラモドキが多数採集された年もある。旭日部落から養鶏場をへて市原部への道筋にはオオムラサキ、ジャコウアゲハ、クロシジミが採れる。クロシジミは多産しシルビアシジミも採れている。黒石部落より秋里川上流の西新宿部落へ出るコースもあるが、現在は道が荒れている。

上郡町より佐用郡上月町久崎への川沿いには土手にシルビアシジミ、山麓にクロツバメシジミが発生している。久崎への途中に細野川が流入しており同所より白旗山をへて大富川方面へ出るコースもある。

7) 佐用川

佐用川(千種川への合流点32,850m)は千種川支流の内一番大きくその流域にはヒロオビミドリシジミの発生地が多い。源流は日名倉山より出ている。佐用町より平福迄は民家も多く、好採集地はなさそうであるが、山間部へ入ればウラジロミドリやヒロオビミドリは採れそうである。平福の町は昔の城下町で民家も古く町の東方の山上には城跡が残っている。城山ではウラジロミドリシジミ、オオミドリシジミが採集されている。上流部の三山、大船、上石井部落周辺ではヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、オオムラサキ、スジボソヤマキチョウが採れる。特にスジボソヤマキチョウの食樹であるコバノクロウメモドキの群生地もあり、兵庫県よりベニモンカラスシジミが発見されるのもこのあたりではないかと思っている。同地方は昔より炭焼の盛んな所で、クヌギ、コナラの

落葉広葉樹が多く残されているが、炭焼の原料であるクヌギ、コナラ林は15年～20年置に伐採されるので、その林内に生えているコバノクロウメモドキも同時に切られてしまう。何処か急斜面で伐採の免かれた場所でもあれば発生している可能性もありうる。

再三の調査にもかゝらず卵は見付かっている。

上石井部落周辺ではウスイロヒョウモンモドキやウスバアゲハも採れる。同部落より最奥の集落奥海迄の川筋も面白い所でヒロオビミドリシジミ、ホシチャバネセセリ、スジボソヤマキチョウ等も多い。

源流の日名倉山では、岡山県境の峠付近で数は少ないがオオヒカゲ、キマダラルリツバメ、ハヤシミドリシジミが採れ、ジョウザン、メスアカ、ウラミスジ等の採集記録もある。ウスイロヒョウモンモドキは多産していたが現在は少なくなっている（峠より山上への道が植林された）。

8) 秋里川

円光寺部落で佐用川に合流している（佐用川への合流点3600m）円光寺部落ではオオムラサキが採れスギタニ型も混る。同部落より秋里部落への川筋でシルビアシジミ、ジャコウアゲハが採れる。シルビアシジミのタイプ標本はこの地のものである。

ヒロオビミドリやキマダラモドキは下秋里、上秋里に産し、メスグロヒョウモンをはじめ他のヒョウモン類も多産する。かつてはホシミスジ、スジボソヤマキチョウも見られたが近年はあまり見られなくなった。

長野の滝あたりではウスイロヒョウモンモドキ（兵庫県南限）やスジグロチャバネセセリの記録もある。上流の岡坂、西新宿部落ではオオムラサキ、キマダラモドキ、スミナガシも産している。冬期のオサ堀りでは、ヤコンオサムシ、マヤサンオサムシ、オオオサムシ、ホソアオクロナガオサムシ、マイマイカブリが多産する。同地方はヒロオビミドリの採集期（6月中旬）には多く採集者が集まり各地の情報交換の場ともなっている。西新宿部落より上流部はハゲ山であり、岡山県の吉永町へと抜けられる。

9) 大日山川

大日山川（佐用川への合流点9455m）流域へは近年採集者が入っていない。小日山部落や上流の大日山部落ではウスバアゲハが採れオオムラサキの目撃記録がある。少ないがウラゴマダラシジミ、ウスイロオナガシジミが採れる。上秋里や目高部落方面への山道は面白そうな所であるが採集者は入っていない。

10) 幕山川

幕山川（大日山川への合流点6882m）の合流点より北方へ金屋部落をへて福吉部落までの道筋ではヒロオビミドリ、ウラジロミドリ、ウスイロオナガシジミ、オオミドリシジミ等平地性ゼフが採集される。中山部落北方の大撫山（標高436m）は観光クリ園と成っているがクリ畑の所々にクヌギ、コナラ、ナラガシワが残っているので平地性のゼフ類が採れる。クワガタ類も多い方である。幕山川へ流入している桜山川、大地川方面も同じ様な蝶が採れるが、ゼフの採集期以外は採集者もあまり入っていない様である。

11) 江川川

中国自動車道佐用インターと国鉄佐用駅との中間で佐用川に合流しているのが江川川（佐用川への合流点10,155m）である。合流点の大観寺より本位田、福沢、豊福、大畠、中山部落へと上流へ採集しながら歩くのも面白い。ヒロオビミドリは少ないがウラジロミドリは多産する。5月上旬にはウスバアゲハも採集出来る。他にオオムラサキ、スジボソヤマキチョウ、オオミドリシジミ、ウラミスジシジミも産している。上石井方面と同じ様な環境の谷なので捜せばホシチャバネセセリ、ウスイロヒョウモンモドキ、キマダラモドキ等の発生地も見付かると思われる。

冬期のオサ堀りでは、ホソアオクロナガオサ、ヤコンオサ、マイマイカブリ、が数多く掘れる。夏期アキオサムシも採れている。掘掘

西河内川、淀川、末包川流域でも同じ様な蝶が採れるミヤマカラスアゲハは少なく、カラスアゲハの方が多産している。

12) 庵川

平福で東方より合流しているのが庵川（佐用川への合流点8900m）である。この谷筋は採集者も多く入っており記録も多く残されている。最奥の集落である海内では、ウスイロヒョウモンモドキ、ウスバアゲハ、ヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、ウスイロオナガシジミ、キマダラモドキ、ホシチャバネセセリ、ミヤマカヤサアゲハ等が発生しており、良く調査をすれば他にも何か出そうな谷である。源流は船越山（標高727m）より出ており猿をよく見かける。も金近川や長谷川も同じ様な蝶が採集出来そうである。佐用流域は6月上旬頃より6月下旬頃迄には採集者も多く入っているが、他の時期（ゼフ特にヒロオビミドリシジミ）の採集期以外は記録も少ない。採集時期を

変えて入ってみればスジグロチャバネセリなどはもっと多くの産地が発見されるであろう。

ウスイロヒョウモンモドキは日名倉山産の個体は小さく、他の産地の個体は少し大きい。発生期も早く6月10日頃には発生している年もある。

石井方面へ3月下旬頃に行くとスジボソヤマキチョウの産卵が目撃出来る。コバノクロウメモドキの枝上にたくさんの卵が見られる。

13) 千種川本流

上月町久崎より南光町への道筋ではヒロオビミドリやオオミドリの産地も点々とある。

上流へ上るにつれてゼフ類よりもウスバアゲハの産地が多くなる。下三河部落より上流部ではどこにでもある。川の西岸よりも東岸に多い。船越山(ルリ寺)には県立昆虫館もある。船越ではミヤマカラスアゲハ、スミナガシ、アサギマダラが産し、オオクワガタも採れている。千種川は千種町干草の少し上流迄である。東方より合流しているのが岩野辺川でウスバアゲハ、アオバセリが採集されている。

川井部落で河内川と西河内川とに分かれる。

14) 河内川

河内川の源流は三室山(標高1358m)で山上にはブナ林も少しは残っている。登山口近くでウスイロヒョウモンモドキ、ミスジチョウやヒョウモンチョウ類が発生している。キャンプ場ではギンイチモンジセリが多産しているがススキ草原のため他の蝶は少ない。大通峠方面ではミヤマカラスアゲハ、コキマダラセリが採れるがスギが植林されており好採集地とは言えない。ゼフ類はあまり産せず、ミドリシジミ、オオミドリシジミ、アカシジミぐらいしか産しない。

三室山の西斜面はススキ草原であり、山上近く迄上らなければ樹林は見られない。

15) 西河内川

西河内川の原流は岡山県の永昌山で岡山県側にはブナ林が残されているが兵庫県側は植林が進んでいる。西河内、木地山部落ではウスバアゲハを産し、ゼフではメスアカミドリシジミ、ウラクロシジミ、ウラミスジシジミ等が記録されている。

16) 志文川

志文川は国鉄播磨徳久駅の少し下流で千種川に合流している(千種川への合流点23,109m)。同川は本流の千種川の東を平行して流れている。

国鉄三日月駅で角亀川(志文川への合流点8618m)が合流している。三日月町には同好者が在住しており、支流の本郷川、鎌倉川と共に良く調査されている。ウスバアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、オオムラサキ、キマダラモドキ、ヒロオビミドリシジミ、ウラジロミドリシジミ、ナガサキアゲハ等71種が記録されている。志文川を上流へ上るにつれて、ウスバアゲハの産地が多くなり揖保郡山崎町土万より上流部では、いたる所ウスバアゲハばかりである。

源流の集落鷹の巣部落では座っていても10頭や20頭は採集出来る程多産している。ウラキンシジミ、ウラミスジシジミの記録もあり調査したい所である。

同部落より干草部落への道筋ではギンイチモンジセリが多産し他にジャコウアゲハ、カラスアゲハも産しているがミヤマカラスアゲハは少ない。

千種川水系に産する蝶類目録

Papilionidae アゲハチョウ科

- 1) *Parnassius glacialis glacialis* BUTLER (ウスバアゲハ)
- 2) *Atrophaneura alcinous alcinous* KLUG (ジャコウアゲハ)
- 3) *Graphium sarpedon nipponum* FRUHSTORFER (アオスジアゲハ)
- 4) *Papilio machaon hippocrates* C.&R. FELDER (キアゲハ)
- 5) *Papilio xuthus xuthus* LINNAEUS (アゲハ)
- 6) *Papilio helenus nicconicolens* LINNAEUS (モンキアゲハ)
- 7) *Papilio protenor demetrius* CRAMER (クロアゲハ)
- 8) *Papilio macilentus macilentus* JANSON (オナガアゲハ)
- 9) *Papilio memnon thunbergii* VON SIEBOLD (ナガサキアゲハ)
- 10) *Papilio bianor dehaanii* C.&R. FELDER (カラスアゲハ)
- 11) *Papilio maackii tutanus* FENTON (ミヤマカラスアゲハ)

Pieridae シロチョウ科

- 1) *Pieris rapae crucivora* LINNAEUS (モンシロチョウ)
- 2) *Pieris melete melete* MENETRIES (スジグロシロチョウ)
- 3) *Pieris napi japonica* SHIROZU (エゾスジグロシロチョウ)
- 4) *Anthocaris scolymus scolymus* BUTLER (ツマキチョウ)
- 5) *Eurema hecabe mandarina* DE L ORZA (キチョウ)
- 6) *Eurema laeta bethesba* JANSON (ツマクロキチョウ)
- 7) *Colias erate Poliopterus* MOTSHULSKY (モンキチョウ)
- 8) *Gonepteryx aspasia nipponica* VERITY (スジボソヤマキチョウ)

Nymphalidae タテハチョウ科

- 1) *Melitaea diamina regama* FRUHSTORFER (ウスイロヒョウモンモドキ)
- 2) *Argyronome laodice japonica* MENETRIES (ウラギンスジヒョウモン)
- 3) *Argyronome rusiana lysippe* JANSON (オオウラギンスジヒョウモン)

- 4) *Damora sagana ilona* FRUHSTOR (メスグロヒョウモン)
- 5) *Nephargynnis anadyomene midas* BUTLER (クモガタヒョウモン)
- 6) *Argynnis paphia geisha* HEMMING (ミドリヒョウモン)
- 7) *Fabriciana adippe pallescens* BUTLER (ウラギンヒョウモン)
- 8) *Argyreus hyperbius hyperbius* LINNAEUS (ツマグロヒョウモン)
- 9) *Limenitis glorifica glorifica* FRUHSTORFER (アサマイチモンジ)
- 10) *Limenitis camilla japonica* MENETRIES (イチモンジチョウ)
- 11) *Neptis sappho intermedia* W.B. PRYER (コミスジ)
- 12) *Neptis Philyra excallens* BUTLER (ミスジチョウ)
- 13) *Neptis pryri pryri* BUTLER (ホシミスジ)
- 14) *Araschnia burejana strigosa* BUTLER (サカハチチョウ)
- 15) *Polygonia c-aureum c-aureum* LINNAEUS (キタテハ)
- 16) *Nymphalis xanthomelas japonica* STICHEL (ヒオドシチョウ)
- 17) *Kaniska canace no-japonicum* VO N SIEBOLD (ルリタテハ)
- 18) *Cynthia cardui cardui* LINNAEUS (ヒメアカタテハ)
- 19) *Vanessa indica indica* HERBST (アカタテハ)
- 20) *Dichorragia nesimachus nesiotis* FRUHSTORFER (スミナガシ)
- 21) *Apatura ilia substiuta* BUTLER (コムラサキ)
- 22) *Hestina japonica japonica* C.&R. FELDER (ゴマダラチョウ)
- 23) *Sasakia charonda charonda* HEWITSON (オオムラサキ)

Lycaenidal シジミチョウ科

- 1) *Narathura japonica japonica* MOORE (ムラサキシジミ)
- 2) *Narathura bazalus turbata* BUTLER (ムラサキツバメ)
- 3) *Artopoetes Pryeri Pryeri* MURRAY (ウラゴマダラシジミ)
- 4) *Ussuriana stygiana stygiana* BUTLER (ウラキンシジキ)
- 5) *Iratsume orsedice orsedice* BUTLER (ウラクロシジミ)
- 6) *Japonica lutea lutea* HEWITSON (アカシジミ)
- 7) *Japonica saepestriata saepestriata* HEWITSON (ウラナミアカシジミ)
- 8) *Wagimo signata* BUTLER (ウラミスジシジミ)
- 9) *Antigius attilio attilio* BREMER (ミズイロオナガシジミ)
- 10) *Antigius butleri butleri* FENTON (ウスイロオナガシジミ)
- 11) *Neozephyrus taxila japonica* BREMER (ミドリシジミ)
- 12) *Chrysozephyrus smaragdinus* BREMER (メスアカミドリシジミ)
- 13) *Favonius saphirinus* STAUPINGER (ウラジロミドリシジミ)
- 14) *Favonius orientalis* MURRAY (オオミドリシジミ)
- 15) *Favonius cognatus* STAUDINGER (ジョウザンミドリシジミ)
- 16) *Favonius ultramarinus* FIXSEN (ハヤシミドリシジミ)
- 17) *Favonius latifasciatus* SHIROZU & HAYASHI (ヒロオビミドリシジミ)
- 18) *Rapala arata* BREMER (トラフシジミ)
- 19) *Spindasis takanonis* MATSUMURA (キマダラルリツバメ)
- 20) *Callophrys ferrea* BUTLER (コツバメ)
- 21) *Lycaena phlaeas daimio* SEITZ (ベニシジミ)
- 22) *Taraka hamada hamada* DRUCE (ゴイシジミ)
- 23) *Niphandia fusca sijima* FRUHSTORFER (クロシジミ)
- 24) *Lampides boeticus* LINNAEUS (ウラナミシジミ)

- 25) *Zizeeria maha argia* MENETRIER (ヤマトシジミ)
- 26) *Zizina otis emelina* DE L'ORZA (シルビアシジミ)
- 27) *Celastrina argiolus ladonides* DE L'ORZA (ルリシジミ)
- 28) *Everes argiades hellotia* MENETRIES (ツバメシジミ)
- 29) *Tongeia fischeri fischeri* EVERSMANN (クロツバメシジミ)

Satyridae ジャノメチョウ科

- 1) *Ypthima argus argus* BUTLER (ヒメウラナミジャノメ)
- 2) *Ypthima motschulskyi nipponica* MURAYAMA (ウラナミジャノメ)
- 3) *Minois dryas bipunctatus* MOTSCHULSKY (ジャノメチョウ)
- 4) *Harima callipteris callipteris* BUTLER (ヒメキマダラヒカゲ)
- 5) *Kirinia epaminondas epaminondas* STAUDINGER (キマダラモドキ)
- 6) *Ninguta schrenckii menalcas* FRUHSTORFER (オオヒカゲ)
- 7) *Lethe diana diana* BUTLER (クロヒカゲ)
- 8) *Lethe sicelis siselis* HEWITSON (ヒカゲチョウ)
- 9) *Neope nipponica nipponica* BUTLER (ヤマキマダラヒカゲ)
- 10) *Neope goschkevitschii goschkevitschii* MENETRIES (サトキマダラヒカゲ)
- 11) *Micalis gotama fulginia* FRUHSTORFER (ヒメジャノメ)
- 12) *Micalis francisca perdiccas* HEWITSON (コジャノメ)
- 13) *Coenonympha oedippus annulifer* BUTLER (ヒメヒカゲ)
- 14) *Lethe marginalis marginalis* MOTSCHULSKY (クロヒカゲモドキ)

Ceretidae ウラギンシジミチョウ科

- 1) *Ceretis acuta paracuta* DE NICEVILLE (ウラギンシジミ)

Danaidae マダラチョウ科

- 1) *Caduga sita nipponica* MOORE (アサギマダラ)

Libytheidae テングチョウ科

- 1) *Libythea celtis celtoides* FRUNSTORFER (テングチョウ)

Hesperiidae セセリチョウ科

- 1) *Erynnis montanus montanus* BREMER (ミヤマセセリ)
- 2) *Daimio tethys tethys* MENETRIES (ダイミョウセセリ)
- 3) *Choaspes henjamini japonica* MURRAY (アオバセセリ)
- 4) *Leptalina unicolor unicolor* BREMER & GREY (ギンイチョモンジセセリ)
- 5) *Aeromachus inachus inachus* MENETRIES (ホシチャバネセセリ)
- 6) *Thoressa varia varia* MURRAY (コチャバネセセリ)
- 7) *Thymelicus sylvaticus sylvaticus* BREMER (ヘリグロチャバネセセリ)
- 8) *Ochlodes venata herculea* BUTLER (コキマダラセセリ)
- 9) *Ochlodes Ochracea rikuchina* BREMER (ヒメキマダラセセリ)
- 10) *Potanthus flavum flavum* MURRAY (キマダラセセリ)

- 11) *Isoetion lamprospilus lamprospilus* C.&R. FELDER(ホソバセセリ)
- 12) *Polytremis pellucida pellucida* MURRAY (オオチャバネセセリ)
- 13) *Pelopidas jansonis jansonis* BUTLER (ミヤマチャバネセセリ)
- 14) *Pelopidas mathias oberthueri* EVANS (チャバネセセリ)
- 15) *Parnara guttata guttata* BREMER & GREY (イチモンジセセリ)
- 16) *Thymelicus leoninus leoninus* BUTLER (スジグロチャバネセセリ)

9科104種の蝶が採集されており、県下に産する蝶、116種の内104種が千種川流域より記録されている。本流と支流の佐用川では蝶相も少しは変わっており、又上流部、中流部、下流部でもそのファウナは違っている。代表的な種についての知見をのべる。

Parnassius glacialis BUTLER ウスバアゲハ

本流域では本流筋の佐用郡南光町西下野以北、支流の志文川筋では揖保郡山崎町土より上流部に多産地が多く、本流筋では西岸よりも東岸に発生地が多い。大日山川の大日山、秋里川の上秋里、角亀川の二柏野あたりが南限である。南限近くの発生地では個体数も少なく、かろうじて種命を撃っている程度である。

志文川下流部の三日月町の採集例は、

佐用郡三日月町春哉	1977年 5月3日	3♂1♀	鎌井
" " 湯浅口	1976年 5月9日	2♂	尾崎
" " 鎌倉	1976年 5月9日	1♂	"
" " 三日月	1975年 5月1日	1♂	仲村
" " 中村	1976年 5月2日	1♂	"
揖保郡新宮町二柏野	1976年 5月15日	1♂	尾崎
" " 相坂	1977年 4月30日	1♂	唐土

春哉は志文川筋の部落である。湯浅口・鎌倉・中村は本郷川筋であり、三日月・二柏野は角亀川筋にある。新宮町相坂は、揖保川水系の支流栗栖川筋にある部落で、千種川水系の角亀川とは1km程しか離れていない。栗栖川筋では他に発生地も見付かっていないので近くの発生地よりの飛来個体ではないかと思われる。宍粟郡山崎町内の揖保川水系よりの採集記録は、宍粟郡山崎町葛沢 1975年 5月23日 8♂2♀ 岩村の記録のみで他にはない。揖保川水系の菅野川は志文川とは3km程しか離れていない。なぜ志文川筋には産地が多くあり、菅野川筋にはないのであろうか。揖保川筋の一の宮町や波賀町には多産地も多くあるのに山崎町内の揖保川水系よりの産地が少ないのである。調査が十分にされていないのか、種の発生に何かがあのだろうか。気温の関係かも知れない。だが現在は何も分かっていない。今後の調査・研究の課題とした

い。

Kirinia epaminondas STAUDINGER キマダラモドキ

近畿地方では大阪府と兵庫県の一部のみ産地が知られているが、その産地は限られている。千種川水系には各所に発生地があり興味深い種である。採集例

佐用郡上月町岡坂	1963年 6月30日	1♀	尾崎
" " "	1969年 6月23日	1♂	米村
" " "	1970年 6月19日	1♂	"
" " 秋里	1966年 6月17日	3♂1♀	尾崎
" " "	1972年 6月17日	1♂	米村
" 佐用町奥海	1965年 6月28日	1♂	岩村
" " 海内	1972年 6月17日	1♂	米村
" " "	1973年 6月23日	1♂	尾崎
" 三日月町三日月	1976年 6月19日	1♂	谷畑
" " "	1978年 6月16日	1♂	尾崎
赤穂郡上郡町黒石	1975年 6月22日	4♂	"

上月町岡坂・秋里は秋里川で、佐用町奥海は佐用川の源流最奥の集落である。海内は庵川最奥の集落であり、黒石は岩木川奥の山地上にある集落である。キマダラモドキの採集はヒロオビミドリの採集時に採れた記録が多く、調査をすれば他にも産地が見付かると思われる。

Melitaea diamina LANG ウスイロヒョウモンモドキ

山地草原性のこの蝶は千種川水系では源流近くはその産地があるが三室山の様なススキ草原には発生せず、や、湿地草原に発生する。三室山では登山口近くの狭い地域のみ発生している。

採集例

佐用郡佐用町上石井	1974年 6月20日	3♂ 1♀	尾崎
" " 若州	1977年 6月12日	7♂ 1♀	"
" " 日名倉山	1972年 7月14日	16♂12♀	"
" " 海内	1973年 6月23日	1♂	"
" " "	1975年 6月20日	2♂ 1♀	"
宍粟郡千種町三室山	1973年 7月10日	3♀	"
" " "	1978年 6月28日	2♂ 1♀	"

他に佐用町青木、上月町秋里の記録がある。上石井・若州・日名倉山は佐用川の源流である。海内は庵川の最奥の集落である。なぜ佐用川流域に産地が多いのであろうか。やはりヒロオビミドリやハヤシミ

ドリの採集時に発見された棲息地である。千種町の鷹巣部落の周辺をよく調査すれば棲息地の環境によく似ている場所もあるので発生地も見付かるものと思われる。

Ussuriana stygiana BUTLER ウラキンシジミ

日本特産種であるこの蝶は、一般に山地性であるが、兵庫県では氷ノ山や扇の山の山上近くでも採れているが、千種川流域では赤穂市から相生市へかけての低山地に多産地が知られている。又姫路市北部、神戸市西部にも多産地があり瀬戸内海に面した低山地には何所にでも産している。但し中位段丘や高位段丘の段丘上よりの採集記録はない様である。

千種川の河口付近より赤穂郡上郡町あたり迄に発生地が多い、詳細はヒロオビNo.4に岩村巖氏が赤穂市の蝶類で中に書かれているので参照されたい。

中流部から上流部にかけても点々と採集されているが個体数は少ない。

参 考 文 献

- 播磨蝶友会 ひろおび、No.1.2.3.4.号
 神戸新聞社学芸部 1974. 兵庫探検自然編、神戸新聞社、兵庫
 山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(1)兵庫生物 Vol. 3. No. 4
 山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(2)兵庫生物 Vol. 3. No. 5
 山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(3)兵庫生物 Vol. 4. No. 1
 山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(4)兵庫生物 Vol. 5. No. 1

〈ISAMU OZAKI〉〒673 明石市

◆編 集 後 記◆

長年に亘って兵庫県の蝶の研究をしておられる尾崎・岩村両氏に聞くとよれば、10数年前までは、今珍種と言われている兵庫県の蝶も、その産地へ行けば多数の個体を見ることができたそうである。

ところが今はもうその面影はなく、時間をかけてその産地へ行っても運が良ければ見られるという程度になってしまった。非常に残念でならない。

しかしながら、交通機関の発達で行動範囲が広がっ

たことと、同好者が増えたことによって、県下における新種や新産地が続々みつかっている。「ひろおび」No. 4、No. 5でもこの一端を報じてきたが、今後も郷土の蝶の研究をテーマに採集記なども交え発行していきたいと考えています。(広畑)

播磨蝶友会会員名簿

入江 照夫 〒678 (TERUO IRIE)	相生市 ☎ 07912(2)
岩村 巖 〒671-14 (IWA O IWAMURA)	姫路市 ☎ 0792(73)
尾崎 勇 〒673 (ISAMU OZAKI)	明石市 ☎ 078(923)
川崎 悟良 〒678 (GORO KAWASAKI)	相生市 ☎ 07912(2)
佐々木 薫 〒678 (KAORU SASAKI)	相生市 ☎ 07912(2)
苦木 隆幸 〒675-15 (TAKAYUKI NIGAKI)	姫路市 ☎ 0792(69)
広畑 政己 〒671-22 (MASAMI HIROHATA)	姫路市 ☎ 0792(66)
八木 弘 〒678 (HIROSHI YAGI)	相生市 ☎ 07912(2)

ひろおび(播磨蝶友会会誌) No.5

発行者/播磨蝶友会
〒678 相生市 佐々木薫方

発行年月日/1980年8月1日

編集者/広畑政己

印刷所/西播印刷(株)
〒670 姫路市保城377-14